



大迫町役場新庁舎

施工地／岩手県稗貫郡大迫町大迫
第2地割51番4
竣工年月／平成16年9月
敷地面積／6,432.64㎡
構造／木造2階建
延床面積／2,891.28㎡



木造建築の持つ、落ち着きと あたたかみのある庁舎

大迫町はまた、「林業」の町でもあります。構造躯体には唐松、内装材には杉や赤松を使い、すべて町産材を用いています。建物中央に位置するこの町民ホールは吹き抜けとなっており、太い柱や梁に建物の堅牢性を見ることが出来ます。



フレキシブルに対応できる 執務室空間

庁舎建築には、多様化する組織に対応できる執務室空間が求められます。この建物は二方向ラーメン構造を採用し、間仕切壁を極力無くしたオープンフロアとすることにより、この問題を解決しております。



チップボイラーを熱源とする 冷暖房設備

近年注目されている木質バイオマスエネルギーの活用として、チップボイラーを熱源とする冷暖房設備を採用しています。地球環境に配慮しつつ、町産材の活用にも役立っております。

周囲の環境並びに町の歴史を考慮した木造庁舎

大迫町は「早池峰山と神楽とワイン」の町です。早池峰の雄大さを表現する大屋根が特徴であり、外壁にはワインが縁で友好都市関係にあるオーストリア・ベルンドルフ市のイメージとして、欧州建築に見られる白壁と木組みを用いています。



岩手県二戸地区 合同庁舎

施工地／岩手県二戸市石切所字荷渡52
竣工年月／平成15年7月
敷地面積／10,115.90㎡
構造／鉄骨鉄筋コンクリート造
地下1階地上6階建・塔屋付
延床面積／10,769.89㎡



だれにでもやさしい環境づくり

“ものをつくる側、使う側が一人ひとりの立場に立った心のこもったものづくり”をコンセプトに、できる限りすべての人が利用しやすい環境づくりを致しました。また、太陽光発電システムの導入や雨水利用設備により、雨水をトイレ洗浄水として利用するなど、自然にも人にもやさしい庁舎と致しました。



自然光を最大限に取り込む 光庭県民ホール

1階中央に二層吹き抜け、天井をガラス屋根とした「光庭」空間を設け、開放的で、魅力的な県民ホールと致しました。



多様化する庁舎機能

二戸シビックコア地区(高度都市・行政サービス・文化交流機能が一体となった都市拠点の形成)に位置し、多様化するニーズに対応した施設を創造致しました。

「ゆとりある庁舎」「ひらかれた庁舎」の イメージアップ推進に配慮

魅力と賑わいのある街づくりの実現を期待し、ゆとりある空間・ひらかれた空間を創造し、住民と行政が触れ合う拠点となる環境を創り出しました。